

日経アーキテクチュア・日経ホームビルダーの「建材設備大賞」で 3社共同開発の「サイホン排水システム」が“大賞”を受賞

野村不動産(株) (本社：東京都新宿区、取締役社長：宮嶋 誠一)、(株)長谷工コーポレーション (本社：東京都港区、代表取締役社長：辻 範明)、(株)ブリヂストン (本社：東京都中央区、代表取締役CEO：津谷 正明) の3社が共同開発した「サイホン排水システム」が、日経アーキテクチュアと日経ホームビルダー主催の「建材設備大賞」^(※1)において最も評価の高い“大賞”を受賞しました。

今回の受賞対象である「サイホン排水システム」は、従来より小口径の排水管を使用し、1つ下の階で排水立て管(建物の各階を縦に貫通して下水に通じる排水管)に合流させることでサイホン力(水が落ちることによって発生する引く力)を利用して排水する、新しいシステムです。受賞理由は、建物の水廻り設備を設置する際の自由度向上に貢献し、建築物全体に与えるイノベーション性の高さが評価されました。

(※1) 省エネルギー性能の高い製品や安全・安心に貢献する製品など、都市や建築・住宅の未来を切り開く優れた建材・設備を表彰。

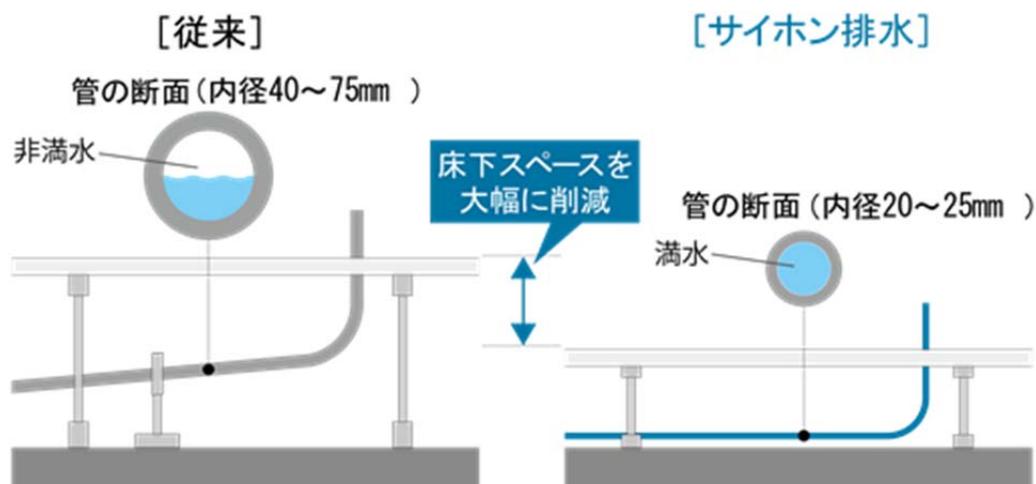


[表彰状を手にする共同開発会社3社の代表者]

排水管に勾配をつけることで水流を発生させる従来の重力式排水には、勾配を確保するために一定の床下空間が必要で、排水立て管から水廻り設備の距離を大きくとれない、といった制限がありました。「サイホン排水システム」を採用することでそれらを軽減することができます。

今後も、当社は安全・安心、快適な住まいを創るため、お客様のご要望にお応えする商品・システムを研究・技術開発してまいります。

<従来の排水システムと「サイホン排水システム」の違い>



<「サイホン排水システム」により期待できるメリット>

・室内レイアウトの自由度向上・プランバリエーションの拡充

サイホン力による高い排水性により、排水立て管から離れて水廻り設備を設置することが可能となり、室内レイアウトの自由度向上・プランバリエーションの拡充が期待できます。

・室内空間の拡大

無勾配化と小口径の排水管を使用することで床下空間を省スペース化でき、室内空間の拡大が期待できます。

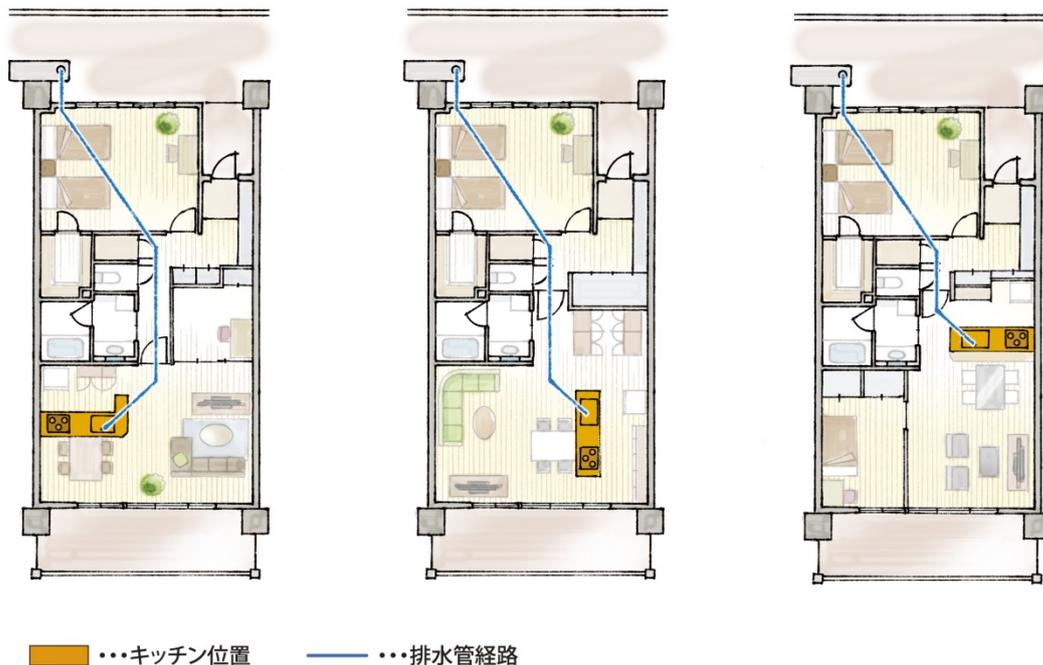
・排水管の詰まり軽減

サイホン力による高い排水性によって自掃能力が高まり、管内の詰まりの軽減が期待できます。

・メンテナンス・更新性の向上

排水立て管から水廻り設備の距離をとることが可能となるため、集合住宅などでは、排水立て管を共有部に設置することが可能となり、メンテナンス・更新作業が行いやすくなります。

「プランバリエーションの拡充」



ご参考：2015年5月22日のプレスリリース

『これまでの排水の常識が変わる「サイホン排水システム」を3社共同開発』

(http://www.haseko.co.jp/hc/information/upload_files/20150522_1.pdf)